



市政懇談会のご案内

日時 2月22日 (金)

午後2時から

場所 市民会館 特別会議室

3月議会の議案の報告と
ご意見をお聞きします

主催 日本共産党
寝屋川市会議員団

ホルムアルデヒドの再調査を 中林議員が一般質問

寝屋川民報
議会版

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181(内線2399)
FAX 824-7760
Email:jcpncc@cc-net.or.jp
No. 2512

ホルムアルデヒド 基準値を超える高濃度

12月議会の一般質問で、中林議員は、廃プラ処理施設による住民の健康被害の問題で、健康被害の原因物質の一つとして挙げられているホルムアルデヒドについて取りあげました。

ホルムアルデヒドは、シックハウスの原因物質です。

廃プラ公害の原因を調べている国・公害等調整委員会の職権調査では、ホルムアルデヒドについて、測定値に疑問があるとして調査結果を公表しませんでした。

しかし、公調委から送られてきた連続測定結果を専門家が分析した結果、室内での規制値（1立方メートルあたり10

0マイクログラム）を超える高濃度が検出されていることが明らかになりました。中林議員は、公調委は測定値に問題があるというなら、再調査をおこなうべき

行政の責任で 健康調査の実施を

また、1000人を超える住民の健康被害の訴えに対し、行政の責任として住民が求める健康調査を実施するよう求めました。

市は、「調査は必要ない」との答弁でした。また、中林議員はホルムアルデヒドの測定については、3

0分平均値で測定すべきであり、08年7月から1年間、市と府で行った24時間平均値による大気調査についてはやり直すべきだと主張しました。

市は、屋外のホルムアルデヒドの測定は24時間平均値を取りのが当然だと答弁しました。

市議会に提出されました。内容は、患者負担の大軽減をおこなうこと。②70歳～74歳への2割負担適用の撤回など3項目について、寝屋川市議会が国に提出をもとめるものです▼保険医協会が会員対象におこなった「医療・介護現場から見える貧困」実態調査（865の医療機関の協力）の結果により治療中断をしたことがある」と回答した医療機関が26%にも過ぎず、あらためて大阪府下での貧困の広がりが浮き彫りになりました。「治療中断」した疾患有は糖尿病、高血圧症、脂肪異常症などの慢性疾患だけではなく、ガン、脳卒中後遺症など命に直結するものにも及びました▼こうした状況の放置は「早期発見、早期治療」という立たず患者の重症化を招き医療費の増大につながり、国保財政にも大きな影響を及ぼすと記しています。

視用

大阪府保険医

協会（門真・寝屋川支部）

太田 とおる

高柳2-49-2
Tel 826-1664

田中 ひさ子
国松町10-36
Tel 823-1714

中林 かずえ
宝町4-33

Tel 839-2289

中谷 光夫
高宮2-19-5
Tel 823-5947

松尾 信次
下木田町12-6
Tel 821-7427

確定申告の時期です。復興特別増税がスタートします。

市府民税について
は、14年度から2
3年度までの10年
間、均等割が昨年度
までの4000円
(市民税3000円、
府民税1000円)
が5000円(市民
税、府民税とも50
0円引き上げ)にな
ります。

(表参照ください)

また、所得税では、
13年から37年ま
での25年間復興特
別税が追加されます。
復興特別税は、例
年通り計算された基
準所得税額の2.1



均等割の税率	2013年度	2014年度～	差額
市民税	3000円	3500円	+500円
府民税	1000円	1500円	+500円
合計	4000円	5000円	+1000円

息子（通称みーと）
が逝つて1年となる2
月1日、2日、息子の
小学校や中学校、西寝
屋川高校の時の友達が
家に寄つてくれました
「今でも、みつとの
こと考へると寂しい」
「どことん話した、熱
い奴だった」などと話
してくれました。

4歳と2歳の2人の
息子のこどもは、何年
か先に写真を見ながら
「お父さんはどんな人
だったの？」と私たち
に聞くだろうと思いま
す。



中林
かずえ

その時のためには、今できる」として、息子に関わった人たちとの思い出や写真をなどをして綴つた「(仮称)みつとの息子たちへ」というような文集を残したいと考えていると話しました。

復興特別増税　25年間で8兆円の負担増
大企業などには20兆円の減税

大企業などには20兆円の減税

あかつき・ひばり園保育発表会

2日間にわたり開催



保育発表会が開かれた
あかつき・ひばり園入口

第41回あかつき・ひばり園保育発表会が30, 31日に開かれました。

ふとまし　み(はむ)・
ぺんぎん・ひよこ・
ぞうクラスのこども
たちが日頃の生活ぶ
りを見せてくれまし
た。

卒園兒が

人ひとり紹介されて

最後に、あかつき・
ひばり園を巣立ち、
4月に1年生になる
こどもたちが紹介さ
れました。

みんなの前に顔を見
せてくれました。
この間の指定管理
の問題で、検討会で
頑張つておられるお
母さんの涙に私も泣
きました。

明るく保育している姿が見えました。

はり園の療育の柱のもとで、長年療育経験を積んだ専門職員は市民の宝だと感じました。

すべての子の発達保障を実践

